

Minami Kyushu Junior College Syllabus

| | | | | | | | |
|-------------------|--|------|----------|-----|--|-----------|-----|
| 科目名称 | 倫理学 | | | | 英語コミュニケーション | (○) | |
| 英文科目名称 | Ethics | | | | 留 学 | (○) | |
| 科目コード | 511151 | 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 | ビジネス・キャリア | (○) |
| 教員氏名 | 別府 俊紘 | | 年次配当 | 1年次 | 前期 | ホテル・観光 | (○) |
| | | | | | | オフィス情報 | (○) |
| | | | | | | 医療事務・医療秘書 | (○) |
| | | | | | | スポーツ健康 | (○) |
| | | | | | | 大学編入 | (○) |
| | | | | | | グローバル | (○) |
| 授業概要及び 授業方法 | ①青年期の課題と人間としての在り方生き方 ②現代と倫理 ③日本人の思想・倫理とその背景 ④国際社会に生きる日本人としての自覚 講義だけでなく小論文の作成、グループ討議、発表等を入れて、資料判断力や表現力を育成する。 | | | | | | |
| 関連する科目 | 異文化理解 | | 学習成果との関係 | | ① ⑤ | | |
| 授業計画 | 1. 青年期の意義 2. 青年期の課題と生き方 3. 哲学と人間 4. 宗教と人間 5. 芸術と人間 6. 日本人の精神風土 7. 外来思想と日本の伝統思想 8. 西洋思想と日本人の近代化 9. 国際社会に生きる日本人の自覚 10. 人間の尊厳 11. 民主社会の倫理 12. 新たな人間像の模索 13. 自然や科学技術と人間のかかわり 14. 民主社会の成熟のために 15. 現代の課題を考える | | | | | | |
| 授業時間外の学習 | 人間としての在り方生き方に関して、次の課題を作成し提出させる。 「父や母の願い」と題して、自分の両親や祖父母を含めて、各々の体験談や考え方・願いを書いてもらったり、聞き取り調査をして各々1,000字程度にまとめて最後に提出する。 | | | | | | |
| 授業の到達目標 | ・日本国憲法の基本原則の一つである人間尊重の精神に基づいて、多感な青年期における人格形成と、人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。 ・市民社会の有為な形成者であり、また、良識ある公民としての実践的意欲と態度を身につける。 | | | | | | |
| 課題に対する フィードバック | 課題発表・研究レポートにコメントを記入して学生に返却をする。 | | 評価方法 | | 試験成績(30%)、課題発表(30%)、研究レポート(40%) 評価基準は到達目標に基づく | | |
| テキスト | 必要に応じてプリントを配布する。 | | | | | | |
| 参考書 | 特になし | | | | | | |
| 備考 | 特になし | | | | | | |